

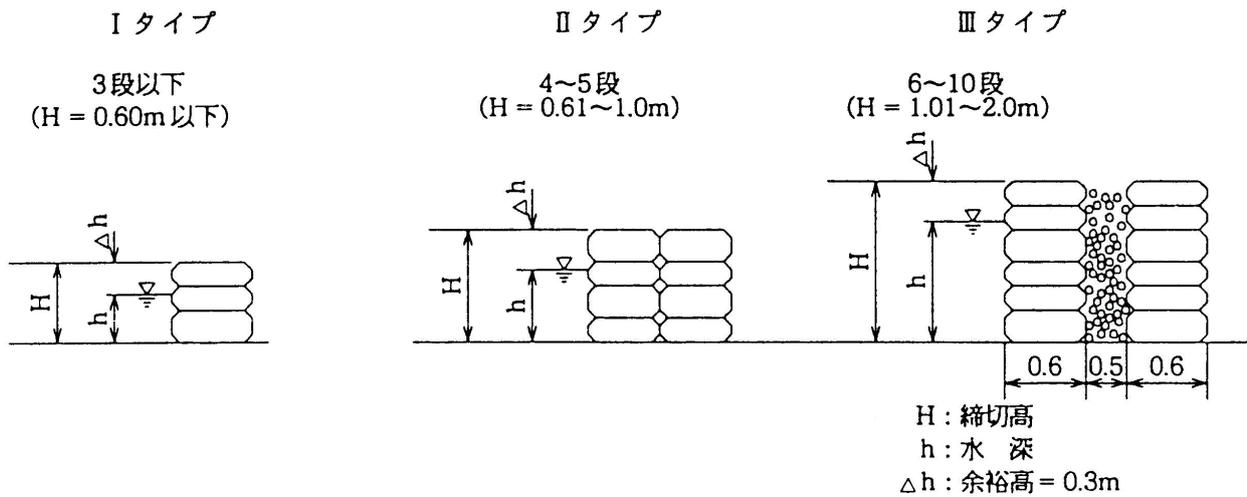
土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日
(令和5年(2023年)4月1日以降積算基準日適用)

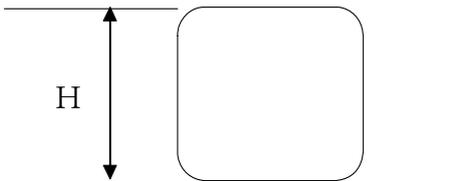
区分	ページ	改定	現行	備考
共通編 1.11.2 土のう締切工	共通-230	<p>大型土のうタイプ (H=1.1m)</p>  <p>(注) 1. 62×48cmのポリエチレン製を使用する場合の、土のう1枚当りの中詰土は0.02m³とする。 2. 大型土のうは、1袋あたり1.1m(幅)×1.1m(高さ)により必要数量を算出する。 <u>3. 大型土のうは、耐候性を標準とし、耐用年数については行程を考慮し適切に選択すること。</u> <u>4. 転用回数の制限はないが、受注者の責によらない現場条件等により、転用できないと判断できる場合は必要に応じて設計変更すること。</u></p> <p>4. 数量算出方法 数量の算出は、「第1編(共通編)1章 基本事項」によるものとする。</p> <p style="text-align: center;">共通 - 230 -</p>	<p>大型土のうタイプ (H=1.08m)</p>  <p>(注) 1. 62×48cmのポリエチレン製を使用する場合の、土のう1枚当りの中詰土は0.02m³とする。 2. 大型土のうは、1袋あたり1.10m(幅)×1.08m(高さ)により必要数量を算出する。</p> <p><u>(3) 転用回数区分</u> 大型土のうの転用回数は次の区分とする。</p> <p>転用回数区分 </p> <p>(注) 1. 大型土のうの転用率は100%とする。 2. 大型土のうの使用回数はそれぞれ1回とするが、大型土のうについては以下の条件により使用回数を増減することができる。</p> <p><u>(転用回数を増できる場合)</u> ・陸上で使用する場合 ・短期間使用する場合 ・日陰で使用する場合 等</p> <p><u>(転用できないと判断できる場合)</u> ・重機足場として使用する場合 ・設置後6ヶ月程度以上経過した場合 等</p> <p>4. 数量算出方法 数量の算出は、「第1編(共通編)1章 基本事項」によるものとする。</p> <p style="text-align: center;">共通 230</p>	実態に 合わせ 取扱い 改定

(2) 列数、段数区分

土のうの延長は次の区分による。



大型土のうタイプ
($H = 1.1\text{m}$)



- (注) 1. $62 \times 48\text{cm}$ のポリエチレン製を使用する場合の、土のう1枚当りの中詰土は 0.02m^3 とする。
2. 大型土のうは、1袋あたり 1.1m (幅) $\times 1.1\text{m}$ (高さ)により必要数量を算出する。
3. 大型土のうは、耐候性を標準とし、耐用年数については行程を考慮し適切に選択すること。
4. 転用回数制限はないが、受注者の責によらない現場条件等により、転用できないと判断できる場合は必要に応じて設計変更すること。

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編(共通編)1章 基本事項」によるものとする。